

福岡市美術館 令和4年度事業報告

令和5年3月16日
令和4年度福岡市美術館協議会

Fukuoka Art Next

福岡市美術館、福岡アジア美術館のこれまでの取り組みを発展させ、彩りにあふれたアートの街をめざす「Fukuoka Art Next」を今年度始動。

- ① Artist Cafe Fukuoka開設
- ② レジデンス事業の拡充
- ③ アートフェアアジア福岡2022（9/30～10/3）
- ④ Fukuoka Wall Art Project
- ⑤ 福岡アートアワードの創設
- ⑥ FaN Weekの開催（9/23～10/10）



福岡市美術館における事業

◆福岡アートアワード

福岡市内で目覚ましい活動をおこなったアーティストを対象に、作品の買い上げをもってアートアワードを贈賞。

応募者数82名。現在最終選考中、3月に受賞者・作品発表予定。

◆FaN Week (9/23~10/10)

- ・「コレクターズ アートと生きる四人」(近現代美術室B/9,265名)
- ・オープニングトークセッション(ミュージアムホール)
- ・アートマルシェ/ワークショップ(アプローチ広場)

◆今月のアート

市長定例会見時に、福岡拠点のアーティストの作品を掲示し紹介するとともに、市役所9階特別応接室に展示。



1 概要

2 事業について

- (1) 展示活動（特別展、企画展、コレクション展、公募展）
- (2) 教育普及活動
- (3) 収集活動（購入、寄贈）
- (4) 調査・研究活動
- (5) 貸館利用
- (6) 広報・集客に関すること 等

3 施設利用状況

4 その他

新型コロナウイルス感染症対策について

1 概要

■開館 1979年11月3日開館

2019年3月21日リニューアルオープン

■規模 鉄筋コンクリート 2階 + 塔屋

敷地面積25,845.71㎡ 延床面積14,713.66㎡ 建築面積8,639.28㎡

■展示室

1階 東光院仏教美術室、古美術企画展示室、松永記念館室

2階 近現代美術室（A～C）、特別展示室、ギャラリーA～F

■その他施設

1階 ミュージアムホール、アートスタジオ、レクチャールーム
カフェ、ミュージアムショップ

2階 キッズスペース、情報コーナー、レストラン

■開館時間 午前9時30分～午後5時30分 月曜日休館

（7～10月の金・土曜日は午後8時まで開館）

1 概要

■ 組織

- ・ 総館長
- ・ 館長（事業管理課、学芸課総括）

※令和5年3月現在

事業管理課長	—	事業管理係 係長1、事務1、会計年度任用職員2
学芸課長（館長事務取扱）	—	学芸係（近現代） 係長1、学芸員2、臨時職員1
	—	主任学芸主事（古美術） 係長1、学芸員1、会計年度任用職員2
	—	主任学芸主事（教育普及） 係長1、学芸員1、会計年度任用職員2

■ 令和4年度予算

内容	予算額（千円）	備考
【歳出】	774,795	施設管理、展覧会経費、教育普及、資料収集費 など
【歳入】	45,073	施設使用料、駐車場、コレクション展観覧料、ふくおか応援寄付 など

- (1) 展示活動**
(特別展、企画展、コレクション展、公募展)
- (2) 教育普及活動**
- (3) 収集活動 (購入、寄贈)**
- (4) 調査・研究活動**
- (5) 貸館利用**
- (6) 広報・集客に関すること 等**

(1) 展示活動

特別展

- ・ ミナ ペルホネン／皆川明 つづく（令和4年4月23日～6月19日、43,267人）
- ・ tupera tuperaのかおてん。（令和4年7月1日～8月21日、34,273人）
- ・ 国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術（令和4年9月3日～10月16日、53,306人）
- ・ 藤野一友と岡上淑子（令和4年11月1日～令和5年1月9日、6,644人）

企画展

- ・ 明恵礼讃“日本最古の茶園”高山寺と近代数寄者たち（令和4年8月31日～10月23日、25,338人）
- ・ 田中千智展 地平線と道（令和5年1月5日～3月21日、開催中）

コレクション展

- ・ 近現代美術
- ・ 古美術

公募展・貸館利用

- ・ 福岡市美術展（第53回令和4年3月23日～4月3日、第54回令和5年3月28日～4月2日）
- ・ 令和4年度貸館利用 122件 91,394人 ※1月末現在/特別展示室利用展1件含む
（令和3年度利用状況 100件 94,110人 ※1月末時点/特別展示室利用展2件含む）

(1) 展示活動

特別展

ミナペルホネン／皆川明 つづく

会期	令和4年4月23日～6月19日 50日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社他
観覧者数	43,267人（有料37,923人）
内容	ファッションデザイナー、皆川明（1967-）が立ち上げたブランド「ミナペルホネン」は、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、日本各地の生地産地と深い関係性を紡ぎながら、独自のものづくりを続けてきた。生地や衣服、インテリア、食器等のプロダクトに加えて、デザインの原画、映像、印刷物、皆川明の挿絵など創作の背景を浮き彫りにする作品群や資料も併せて展示。
会期中の主なイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4/23 開幕記念トーク 登壇者：皆川明（ミナペルホネン）、田根剛（建築家） ・ 4/27 皆川明 公開制作 ・ 5/14 ワークショップ「自分でつくる 自分だけの柄」 講師：田中景子（ミナペルホネン） ・ 5/15 クロストーク 登壇者：皆川明（ミナペルホネン）、中村好文（建築家）

ミナペルホネン / 皆川明 つづく
minä perhonen / minagawa akira TSUZUKU
23rd April, 2022 — 19th June, 2022

THE FUKUOKA ART MUSEUM IS A MEMBER OF THE FUKUOKA CULTURAL TRUST. THE FUKUOKA ART MUSEUM IS A MEMBER OF THE FUKUOKA CULTURAL TRUST. THE FUKUOKA ART MUSEUM IS A MEMBER OF THE FUKUOKA CULTURAL TRUST. THE FUKUOKA ART MUSEUM IS A MEMBER OF THE FUKUOKA CULTURAL TRUST. THE FUKUOKA ART MUSEUM IS A MEMBER OF THE FUKUOKA CULTURAL TRUST.



(1) 展示活動

特別展

ミナ ペルホネン / 皆川明 つづく



(1) 展示活動

特別展

tupera tuperaのかおてん.

会期	令和4年7月1日～8月21日 45日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、西日本新聞イベントサービス
観覧者数	34,273人（有料22,277人）
内容	絵本を中心に活躍中の大人気クリエイティブ・ユニット tupera tuperaによる展覧会。彼らのインスピレーションの源である「顔」をテーマに、絵本の原画、映像作品の「かおつくりズム」、さまざまな仕掛けを発見して楽しむインスタレーション「かおカオス」、そして、来た人が自分のカラダを使って顔を完成させる参加型展示「床田愉男」などを展示した。
会期中の主なイベント	<ul style="list-style-type: none">・ 7/2 「tupera tupera サイン会」・ 7/3 「絵本ライブ」 出演：tupera tupera&ザ・スタッカーズ・ 7/29、8/17 「tupera tuperaのワークシートで遊ぼう」 ファシリテーター：当館教育普及係、当館ボランティア他 協力：福岡教育大学



(1) 展示活動

特別展

tupera tuperaのかおてん。



(1) 展示活動

特別展

国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術

会期	令和4年9月3日～10月16日 38日間
主催	福岡市美術館、高山寺、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、TVQ九州放送、朝日新聞社
観覧者数	53,306人（有料45,680人）
内容	京都・栴尾の高山寺に所蔵される、国宝「鳥獣戯画」は、日本美術の中で最も有名であり、人びとから愛される作品である。「鳥獣戯画」の愛らしさに注目した本展では、動物モチーフと表現の簡潔さとユーモアというテーマに沿って日本美術を紹介することで、その人気の秘密に迫った。 展示総数：71点（国宝5点、重要文化財6点、重要美術品3点）
会期中の主なイベント	<ul style="list-style-type: none">・8/21 プレトークイベント「鳥獣戯画と日本美術の遊戯」 講師：中山喜一郎（当館総館長）・10/2 記念講演会①「京都・高山寺の名宝 鳥獣戯画ーその魅力と謎ー」講師：井並林太郎（京都国立博物館研究員）・10/9 記念講演会②「競い遊ぶものたちー「戯画図巻」のこころー」 講師：齋藤真麻理（国文学研究資料館教授）



(1) 展示活動

特別展

国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術

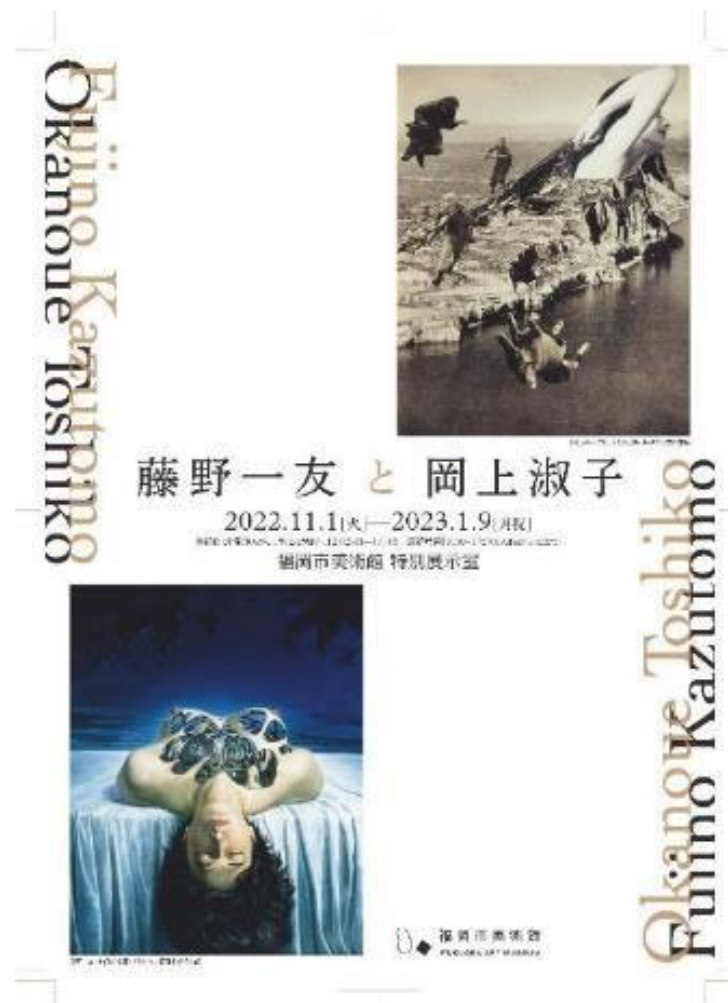


(1) 展示活動

特別展

藤野一友と岡上淑子

会期	令和4年11月1日～5年1月9日 54日間
主催	福岡市美術館、読売新聞社、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス
観覧者数	6,644人（有料5,012人）
内容	1950年代から細密描写による幻想絵画で活躍した藤野一友と、コラージュ作品で知られる岡上淑子（おかのうえとしこ）。かつてパートナーであったふたりの作品をそれぞれ個展形式で紹介し、表現の特徴、共通点と差異だけでなく、戦後日本におけるジェンダー役割の問題も浮かびあがらせた。 藤野の作品117点、岡上の作品94点、他資料多数を展示。
会期中の主なイベント	<ul style="list-style-type: none">・ 11/12 記念講演会「岡上淑子とその時代」 講師：巖谷國士（仏文学者、美術評論家、明治学院大学名誉教授）・ 11/26 つきなみ講座「藤野一友と岡上淑子」 講師：正路佐知子（本展担当学芸員）



(1) 展示活動

特別展

藤野一友と岡上淑子

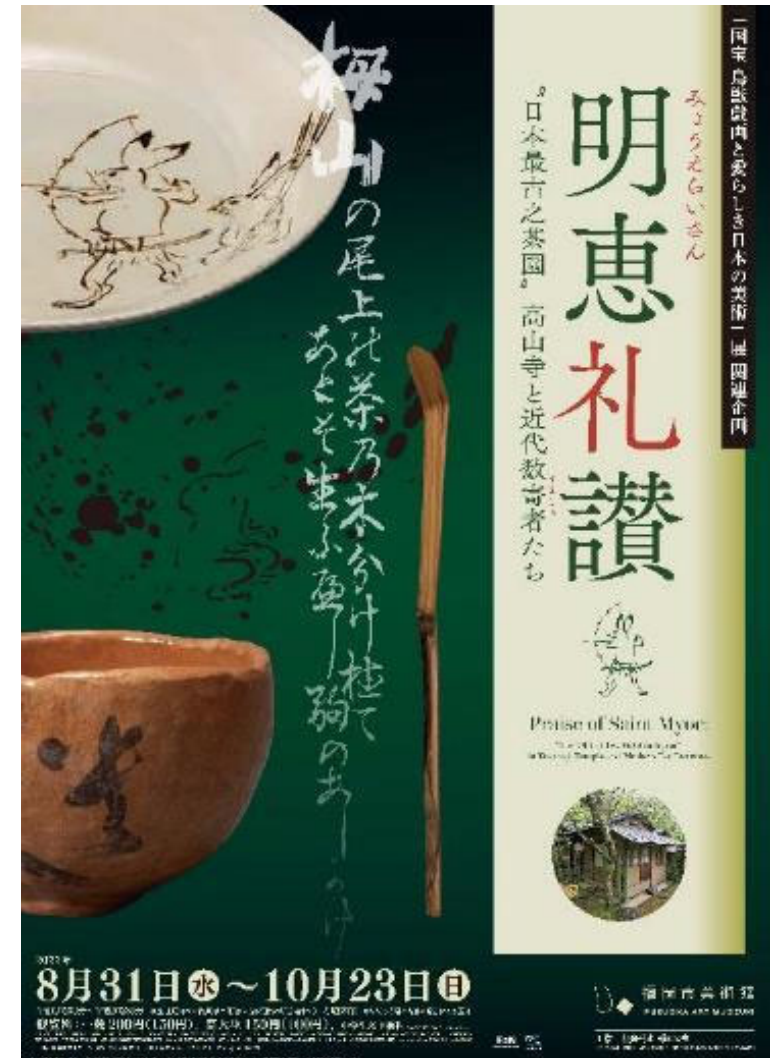


(1) 展示活動

企画展

「国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術」展関連企画
明恵礼讃“日本最古之茶園”高山寺と近代数寄者たち

会期	令和4年8月31日（水）～10月23日（日） 47日間
会場	古美術企画展示室
主催	福岡市美術館、高山寺、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、TVQ九州放送、朝日新聞社
観覧者数	25,338人 ※会期中のコレクション展示観覧者数
内容	京都・栴尾山高山寺にある茶室「遺香庵」は、高山寺を中興した明恵上人の七百年遠忌にあたる昭和6（1931）年11月、近代数寄者たち103名の有志によって寄進された茶室である。彼らは同時に茶室の常什品として自作または好み物の茶道具も多数寄進した。本展ではそれらに着目し、茶碗、茶杓、茶入、香合など、遺香庵の什物の中から、開庵当初に寄進された茶道具49件を関連資料や参考出品作品とともに展観した。
会期中の主なイベント	・10/1 つきなみ講座「遺香庵の什物—近代数寄者たちが仰ぎ見た高山寺」講師：後藤恒(本展担当学芸員)



(1) 展示活動

企画展

「国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術」展関連企画
明恵礼讃

“日本最古之茶園”高山寺と近代数寄者たち



(1) 展示活動

企画展

田中千智展 地平線と道

会期	令和5年1月5日～3月21日	65日間
会場	近現代美術室B	
観覧者数	(開催中)	
内容	福岡を拠点に活動する画家・田中千智は、アクリル絵具を使った漆黒の背景に、艶やかな油彩で前景を描くという独自の手法で絵画制作を行う。 本展では2008年から最新の作品まで約40点を展示し、会期中には美術館内の13mの白い壁を用いた新作壁画の公開制作を行った。	
会期中の 主な イベント	<ul style="list-style-type: none">・ 1/14、3/4 作家によるギャラリートーク 講師：田中千智（画家）・ 2/11 担当学芸員によるギャラリートーク 講師：山木裕子（本展担当学芸員）・ 2/18 つきなみ講座特別編 「田中千智展 地平線と道」のみどころ 講師：田中千智（画家）、山木裕子（本展担当学芸員）	

田中千智展 地平線と道



田中千智展 地平線と道

福岡市美術館 近現代美術室B

2023.1.5(木) - 3.21(火)

10:00 - 17:00 (土曜日は17:00まで)

休館日：11月4日(日) 12月31日(日)

観覧料：大人 500円、小人 250円、中学生以下 100円

主催：福岡市美術館、F&N

(1) 展示活動

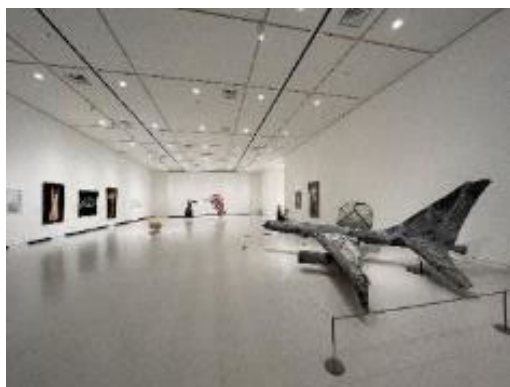
企画展

田中千智展 地平線と道



(1) 展示活動

コレクション展 近現代美術



コレクションハイライト

通期

近現代美術室A、C



新収蔵品展（近現代美術）

3/24～5/29

近現代美術室A



夏休みこども美術館2022
水のリズム

6/9～8/21

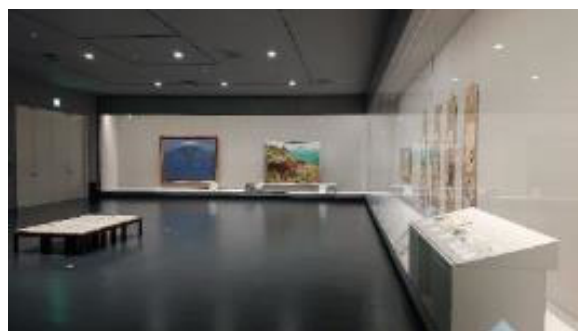
近現代美術室A



一本の線のためには…

8/23～10/30

近現代美術室A



福岡をみる

11/1～12/27

近現代美術室A



九州の女性画家たち

1/5～3/21

近現代美術室A

(1) 展示活動

コレクション展 近現代美術



絵になる景色 吉田博を中心に

3/24~5/29

近現代美術室B



森山安英の絵画—アルミナ頃から
ヒロシマシリーズまで

6/9~8/21

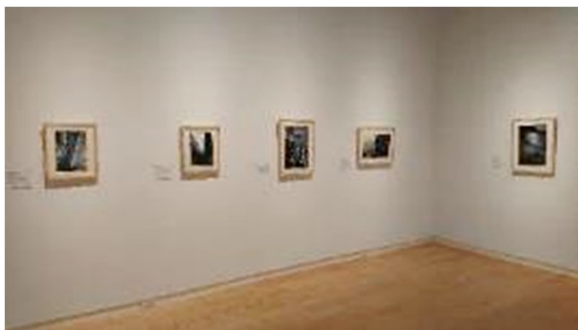
近現代美術室B



変貌する絵画—アンフォルメル、
具体、九州派

8/23~10/30

近現代美術室B



奈良原一高
「無国籍地」 / 「人間の土地」

11/1~12/27

近現代美術室B



KYNE 壁画展示

~2022年12月末まで

コレクション展示室最終壁面

(1) 展示活動

コレクション展 古美術



東光院のみほとけ

通期

東光院仏教美術室



屏風絵の世界

10/26~12/18

古美術企画展示室



新収蔵品展 (古美術)

3/30~5/29

古美術企画展示室



流れゆく美
日本美術と水

3/30~5/29

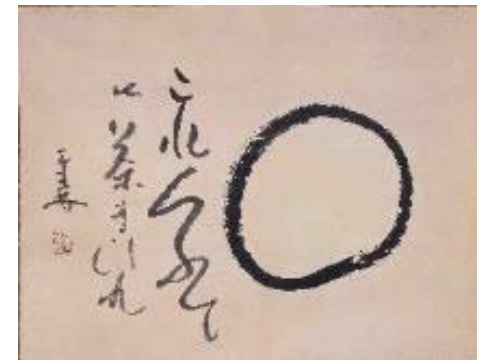
古美術企画展示室



田中丸コレクション
九州やきもの風土記
陶器編

5/31~8/28

古美術企画展示室



仙厓展

12/20~2023/2/19

古美術企画展示室



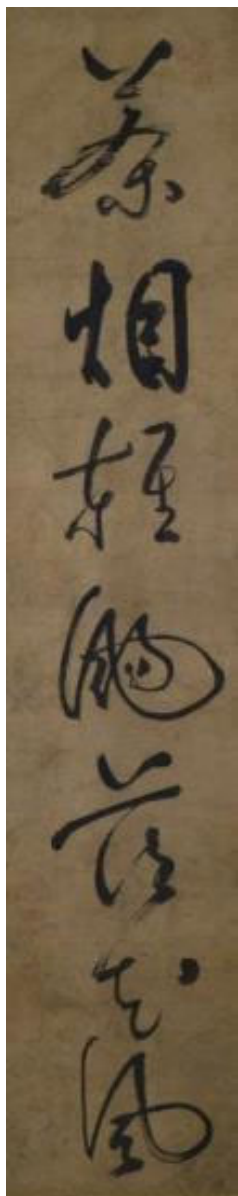
東南アジア美術を旅する
タイ、カンボジア、ミャンマー

2023/2/21~4/9

古美術企画展示室

(1) 展示活動

コレクション展 古美術



春の名品展

4/12~6/19

松永記念館室



松永耳庵と
益田鈍翁

6/21~9/4

松永記念館室



秋の名品展

9/6~11/13

松永記念館室



老櫟荘の松永耳庵

11/15~2023/1/22

松永記念館室



松永耳庵と
同時代の美術家

2023/1/24~4/2

松永記念館室

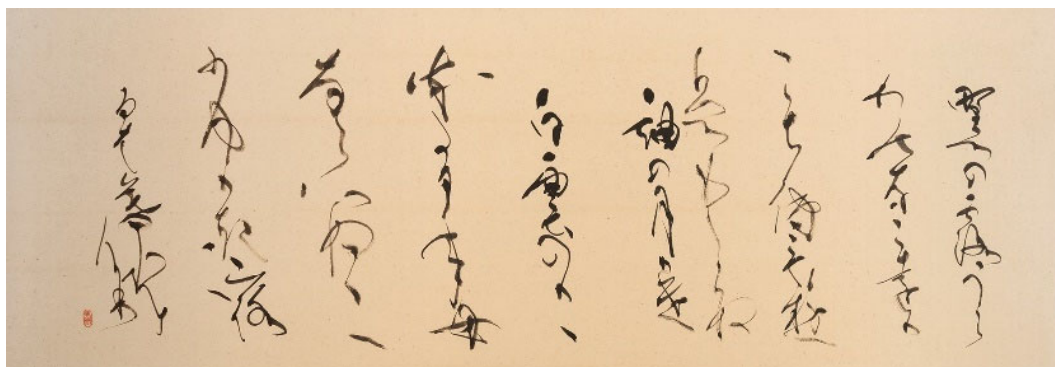
(1) 展示活動

公募展

- ・ 第53回福岡市美術展（令和4年3月23日～4月3日）

<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催する公募展。 ・ 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザインの7部門について一般公募。
<p>実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出品点数725点 ・ 364点が入選、特別賞など入賞71点 ・ 観覧者数3,556人

- ・ 第54回は令和5年3月28日～4月2日で開催予定



第53回 大賞
書部門《白雲》

第五十三回(令和三年度) 福岡市美術展

53rd Fukuoka City Art Competition

開催
入賞者発表
2022
1.29 SAT - 30 SUN
10:00-17:00
福岡市美術館(東館5F)

開展
2022
3.23 WED - 4.3 SUN
福岡市美術館(西館)と北九州美術館(西館5F)

出品
● 出品資格
● 出品料
● 出品方法
● 出品期限
● 出品場所

日本画 洋画 彫刻 工芸 書 写真 デザイン

(2) 教育普及活動

教育普及活動について

「アートと生きる」を活動方針に、展覧会を見るだけではない、利用者がより能動的な学びと楽しみを得られる活動を「教育普及活動」として行っている。

また、美術館に来にくい来られない人も「利用者」として考え、美術を楽しめる企画を実施。

主な取組み

- ・ 福岡ミュージアムウィーク2022
- ・ こども・家族向けのプログラム
(夏休みこども美術館、ファミリーDAY、初めてのベビーカーツアー)
- ・ 大人向けプログラム (つきなみ講座、いきヨウヨウ講座 他)
- ・ アウトリーチプログラム (どこでも美術館アウトリーチ (遠隔地の学校、公民館等))
- ・ 学校向けプログラム (スクールツアー、どこでも美術館ティーチャーズプラス)
- ・ ボランティア活動
- ・ バリアフリーギャラリートツアー
- ・ 他の施設との連携
- ・ 令和4年度の新たな取組み (多文化共生プログラム等)

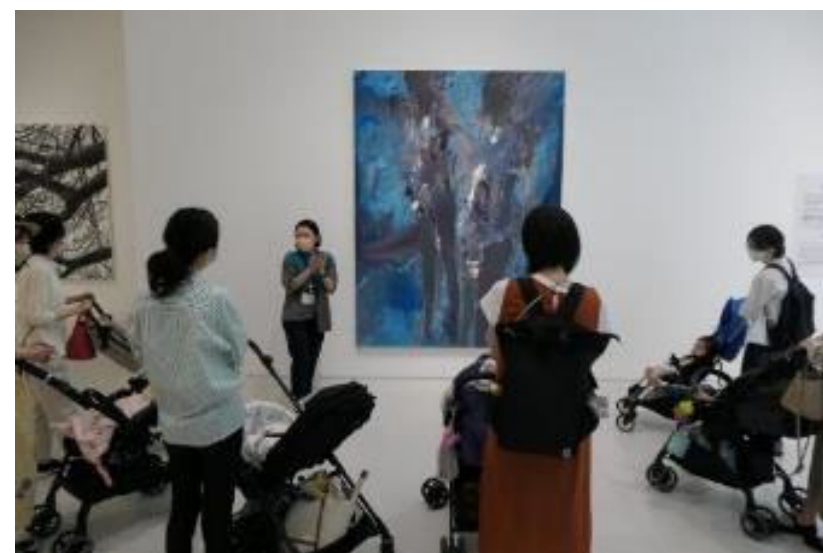
(2) 教育普及活動

ミュージアムウィーク2022

期間	令和4年5月18日～5月22日
内容	「国際博物館の日」を記念し、市内の20の美術館・博物館が、期間中にさまざまな催しを実施するというもの。 毎年紙でのスタンプラリーを実施しているが、本年度はQRコードによるオンラインスタンプラリーを実施。
主なイベント	<ul style="list-style-type: none">・講演会「現代美術を未来に残すには？ ～ナム=ジュン=パイクのビデオインスタレーションを巡って」講師：溝口直美（株）エフ・ジェイエンターテインメントワークス） （5/22 参加者数：64人）・初めてのベビーカーツアー（5/18、5/19 参加者数：こども8人 大人8人）・ボランティアによるオンラインギャラリーツアー（5/15、5/17、5/20 参加者数：12人）・建築ツアー（5/21 参加者数：14人）・こども探検隊（5/21 参加者数：16人）



建築ツアーのようす



初めてのベビーカーツアーのようす 26

(2) 教育普及活動

こども・家族向けプログラム

夏休みこども美術館2022「水のリズム」

期間	令和4年6月9日～8月21日 期間中の中学生以下の来館者数：3,471人
内容	毎年開催する子ども向けプログラム。 令和4年度は「水のリズム」をテーマに所蔵品を展示。 キャプションを工夫しワークシートを配布したほか、さまざまな水の音を展示室内で流した。 また、同じ展示室内で「夏休みこどもとしょかん」を開催し、同展および同時開催していた「tupera tuperaのかおてん。」に関連したこども向け図書を紹介した。
主なイベント	<ul style="list-style-type: none">・初めてのベビーカーツアー (6/9、6/10 参加者数：子ども11人 大人11人)・ワークショップ「水と色であそぶマーブリング」 講師：加藤隆之（福岡教育大学准教授） (7/23 参加者数：125人)・ギャラリーツアーforキッズ (7/26～31 参加者数：子ども45人 大人30人)・「美術館と油山市民の森で水の音をつくるワークショップ」 講師：羽太広海（九州産業大学准教授） (8/7、8/11 参加者数：15人)



展示のようす



美術館と油山市民の森で水の音をつくるワークショップ

(2) 教育普及活動

ファミリーDAY2022 みて、きいて、はなして、つくって 家族で楽しむアートミュージアム

<p>期間</p>	<p>令和4年11月3～6日 期間中の中学生以下の参加者数：延べ1,067人（大人960人）</p>
<p>内容</p>	<p>家族で美術と美術館を楽しんでもらうため、期間中、館内各所でワークショップ等を実施する企画。 今年、対面のワークショップをコロナ前の水準で実施。ただし、混雑しそうなものについては事前応募とした。 また、平日には昨年同様「初めてのベビーカーツアー」を実施した。なお、受付スタッフやワークショップスタッフに当館ボランティアおよび学生ボランティアが従事した。</p>
<p>主なイベント</p>	<p>【事前応募なし】※参加者数は大人・子どもを合わせた数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 「かいとうキッズ 美術館の謎をとけ！」（11/3、5、6 参加者数：804人） ・ワークショップ 「ミニミニワークショップ」（11/3、5、6 参加者数：343人） 「走れコブウシくん！+ぬりえ」（11/3、5、6 参加者数：684人） 「布でバッジをつくろう！」講師：加藤隆之（福岡教育大学准教授） （11/6 参加者数：58人） 【事前応募】 ・ワークショップ 「箱型カメラをつくって遊ぼう！」講師：長野聡史（写真家） （11/3 参加者数：33人） 「屏風をつくろう！」（11/6 参加者数：25人） ・ギャラリートour 「初めてのベビーカーツアー」（11/4 参加者数：18人） ※12/21にも実施 参加者数：子ども3人 大人：5人



かいとうキッズ 美術館の謎をとけ！



ミニミニワークショップ



箱型カメラをつくって遊ぼう！

(2) 教育普及活動

大人向けプログラム

つきなみ講座

期間	毎月1回 参加者数：506人※1月末現在
内容	毎月1回学芸員をはじめとした美術館職員が、自身の研究や取組、興味について一般向けに話す講座。



いきヨウヨウ講座「今日の気持ちを香りに変える」

期間	令和5年3月19日予定 参加者数：20人予定
内容	65歳以上を対象としたワークショップ。令和4年度は作品から香りをイメージして匂い袋を制作する予定。講師：大津留聡（大分香りの博物館 学芸員）

ギャラリーツアー

内容	ボランティアが来館者に向け所蔵作品を3点紹介する対話型ギャラリーツアー。1日2回実施。ただし、 <u>令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。令和5年度より再開予定。</u>
----	---

(2) 教育普及活動

アウトリーチプログラム

どこでも美術館 アウトリーチ

期間	令和4年7月～9月、令和5年1月
内容	美術館に来にくい、あるいは来られない子どもや高齢者のために、学校や公民館、病院などに、所蔵品の複製画などの教材を持ち出し、鑑賞・制作活動を行うプログラム。
実施数	・学校 3校 児童・生徒数 160人 教員 29人 ・公民館等（子ども含む）19件 311人 （令和5年1月時点）



特別支援学校へのアウトリーチ



公民館でのプログラム

(2) 教育普及活動

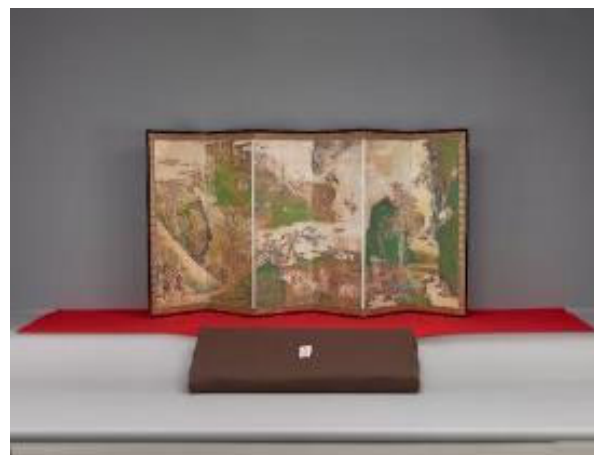
学校向けプログラム

スクールツアー

内容	ボランティアによる学校向け対話型鑑賞ツアー (幼稚・保育園～大学および放課後学級等)
実施件数	18件 786人 ※児童生徒数 1月末現在

どこでも美術館 ティーチャーズプラス

内容	学校等に「どこでも美術館」の教材を貸し出し、授業に活用してもらうプログラム。
貸出件数	10件 (小～大学) ※1末日現在



《轡鞞人狩獵図屏風》複製



日本画画材ボックス

(2) 教育普及活動

ボランティア活動

内容

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始。

現在、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。

コロナ禍の中、活動回数を減らしていたが、12月より新聞情報、図書整理、美術家情報整理ボランティアは通常活動に戻った。ギャラリーツアーは中止のままだが、令和5年度の再開をめざし、1月よりギャラリーガイドボランティアの研修を実施している。また、オンラインツアー、初めてのベビーカーツアー、ファミリーDAYなどのサポートも行っている。

各ボランティア在籍数

- ・ギャラリーガイドボランティア 84人
- ・新聞情報ボランティア 42人
- ・図書整理ボランティア 26人
- ・美術家情報整理ボランティア 12人
- 計 164人



新聞情報と図書整理ボランティア活動のようす



ギャラリーガイドボランティアによる
オンラインツアー

(2) 教育普及活動

バリアフリーギャラリーツアー

期間	令和4年9月4日、9月10日、9月11日
内容	<p>視覚障がい者、聴覚障がい者、車椅子利用者のためのコレクション展示ギャラリーツアーを実施。</p> <ul style="list-style-type: none">・視覚障がい者のためのおしゃべりとてぎわりのツアー（実施日：9/4 参加者数：16人）・聴覚障がい者のための目で聴くツアー（実施日：9/10 参加者数：11人）・車いす利用者のためのゆったり車いす鑑賞ツアー（実施日：9/11 参加者数：5人）・車いすを利用しない方の車いすで美術館ツアー（実施日：9/11 参加者数：5人）



視覚障がい者のためのおしゃべりとてぎわりのツアー

他の施設との連携

南区市民センターリニューアルオープンイベントに参加

期間	令和4年8月27日	内容	ミニミニワークショップ等実施。参加者数：329人
----	-----------	----	--------------------------

植物園でワークショップ「想いの種をつくろう」実施

期間	令和4年12月3、4日	内容	1日目は福岡市植物園で種の観察、2日目は当館で作品制作を行う。 参加者数：1日目11人 2日目8人
----	-------------	----	--

東区芸術文化祭への参加

期間	令和4年12月19日	内容	「カンガを着てみよう」を実施。参加者数：19人
----	------------	----	-------------------------

(2) 教育普及活動

令和4年度の新たな取組み

多文化共生プログラム「外国人親子向けやさしい日本語ツアー」

期間	令和4年7月9日、8月19日実施
内容	福岡よかトピア国際交流財団との共同開催。 在住外国人親子向けに、夏休みこども美術館 を中心に、コレクション作品を「やさしい日 本語」を使用して鑑賞した。



令和4年度 文化庁 Innovate MUSEUM事業

「めぐる季節のアートバス スマイル茶会へようこそ」

期間	令和4年11月30日実施
内容	九州産業大学美術館との共同開催。九州産業 大学美術館が、東区在住の高齢者向けにバス をしたて、当館へ案内。アーティスト・オー ギカナエによる「スマイル茶会」と当館ボラ ンティアによるギャラリートークを体験して もらった。



(3) 収集活動（購入、寄贈）

購入

◆新規収集

- ・ 山内光枝 《つれ潮》 2018年
《潮汐 2012-2021》 2012-2021年
- ・ 酒井抱一 《日課観音図》 江戸時代 文政7年（1824年）

◆福岡市文化芸術振興財団からの買戻し

- ・ ソシエテイルフの写真（撮影者不詳）《イルフ逃亡》2点 1939年頃
- ・ 《草花文様木版更紗掛布》 インド19世紀
- ・ 《加彩武人俑》 唐時代8世紀

寄贈

- ・ 近現代美術 30点（油彩、日本画、素描、彫刻、その他）
- ・ 古美術 1点（絵画）

(3) 収集活動 (購入、寄贈)

購入

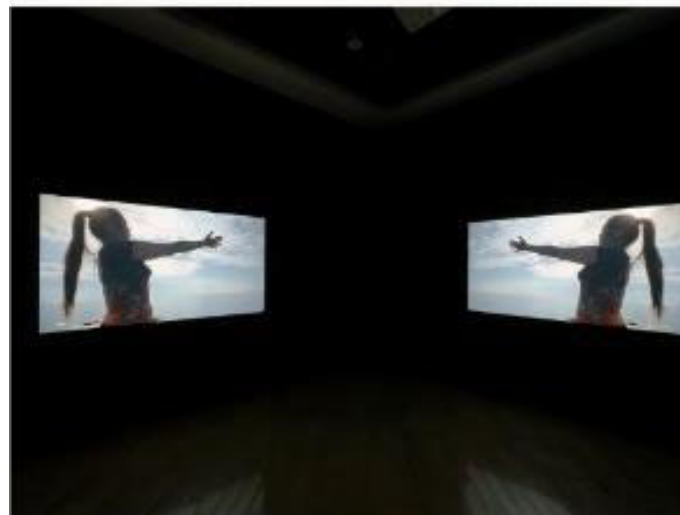
◆新規収集 (近現代美術)



山内光枝《つれ潮》

2018年

シングルチャンネル映像
(FHD)、サウンド 78分



山内光枝《潮汐 2012-2021》

2018年

2チャンネル映像インスタレーション (HDコンバートSD映像、スマートフォン撮影HD映像、サウンド) 11分14秒

(3) 収集活動 (購入、寄贈)

寄贈

- ・ 近現代美術30点 (油彩、日本画、素描、研究資料等)



田部光子「題不詳」

ほか

22点

素描等



田部光子《題不詳》

1点

素描



木下新《ドン・キホーテ》

1点

油彩等

(3) 収集活動 (購入、寄贈)

寄贈



上田宇三郎《裸婦》ほか

2点

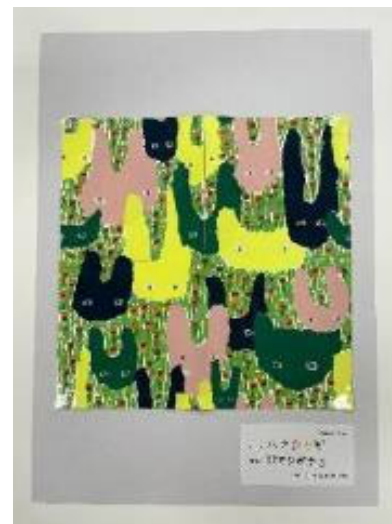
日本画



森山安英ほか
《森山安英資料一式》

1点

研究資料



皆川明
《ハナウサギ》

1点

研究資料



編・コピー：春原武彦、発行：追悼
藤野一友をすすめる会『藤野一友
集—デッサン、エスキース、オリジ
ナルコピー—1, 2』

2点

研究資料

(3) 収集活動（購入、寄贈）

購入

◆新規収集（古美術）

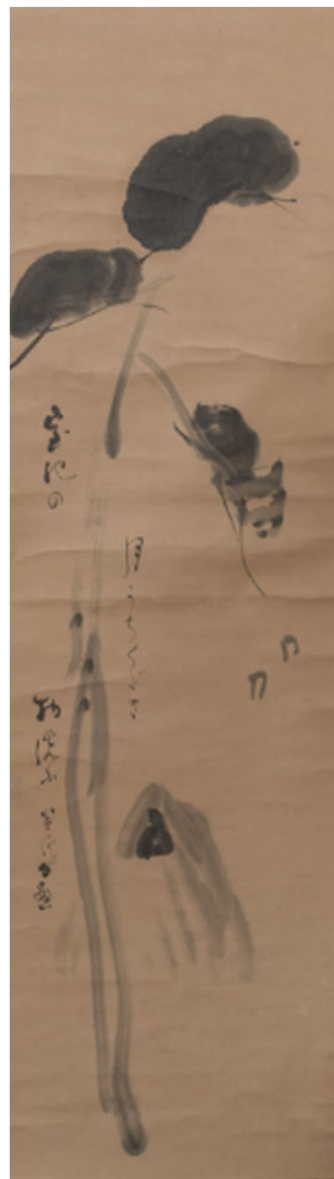


酒井抱一（1761-1829）
《日課観音図》

文政7年（1824）

絹本墨画 71.7×24.4cm

寄贈



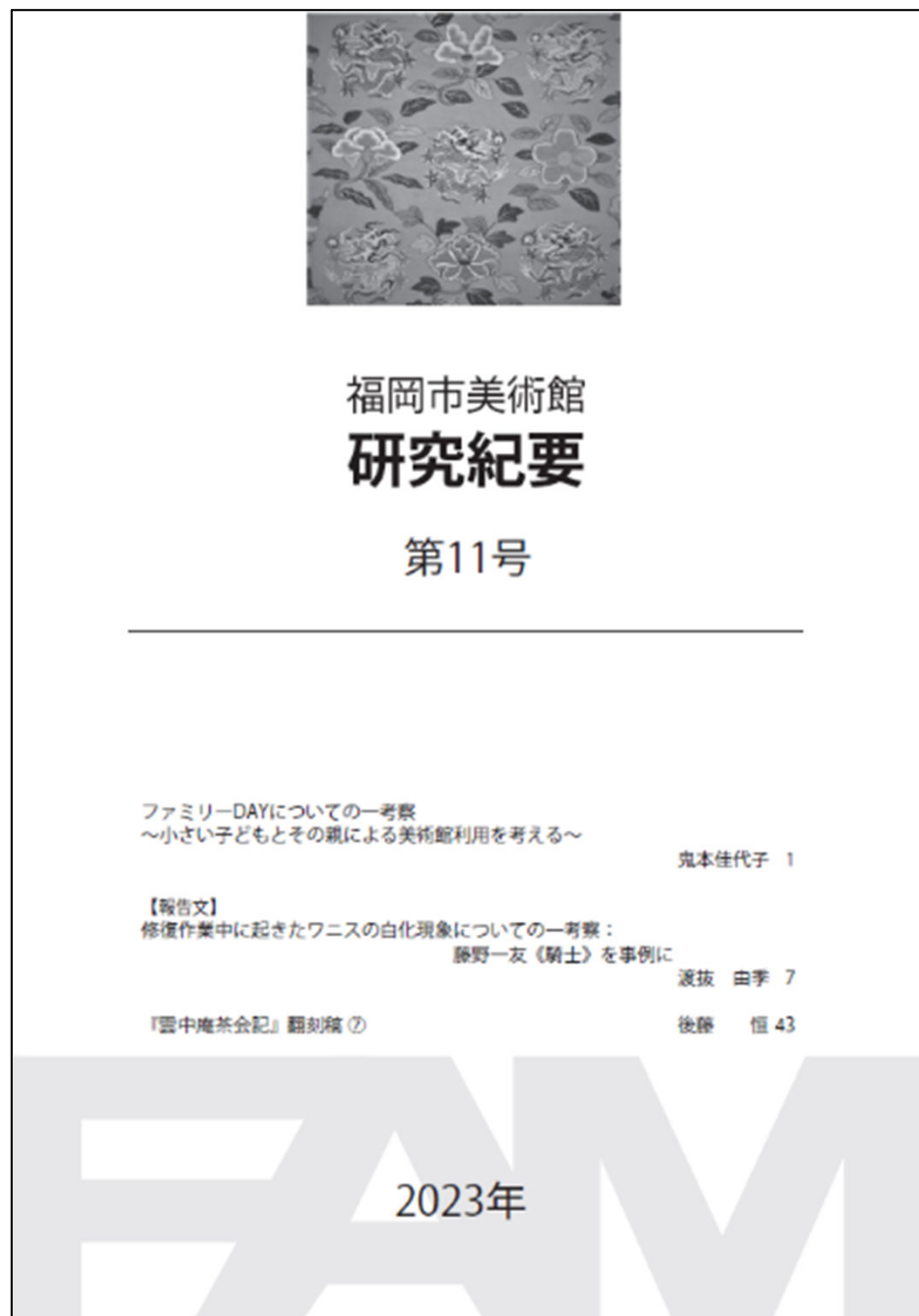
川喜田半泥子（1878-1963）
《泥佛堂真景図》

昭和10年（1935）頃

紙本墨画 114.8×31.7cm

紀要の発行

『福岡市美術館研究紀要』
第11号
(令和5年3月発行予定)



(5) 貸館利用

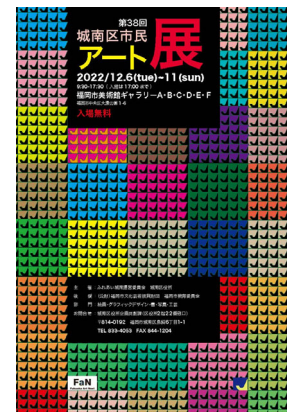
貸館利用

【展示室】

- ・ 市民等の創作活動の発表の場としてギャラリー（最大6室）特別展示室を貸出（年2回募集、1週間単位での利用）
- ・ 令和4年度貸館利用 122件 91,394人 ※1月末現在/特別展示室利用展1件含む
（令和3年度利用状況 100件 94,110人 ※1月末時点/特別展示室利用展2件含む）

【ホール等】

- ・ 文化芸術・学術に関する講演会や講座、ワークショップ、イベントなどの利用に際してミュージアムホール、レクチャールーム、アートスタジオのほか、ロビーや1,2階の屋外を貸出
- ・ 令和4年度利用状況 463件 42,876人 ※1月末現在
（令和3年度利用状況 260件 24,546人 ※1月末時点）



第17回福岡文化連盟祭り
福岡アートビエンナーレ2022
現在(いま)をこえて
主会期: 11月22日~27日

福岡文化連盟
Fukuoka Bunka Renmei

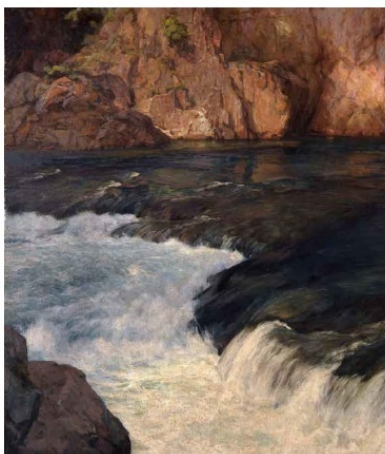


広報活動

- ・季刊誌「エスプラナード」を年4回発行
- ・展示・イベント実施等に関する報道・出版各社への情報提供

esplano
ard

FUKUOKA ART MUSEUM 季刊誌「エスプラナード」
2021年4月号



esplano
ard

FUKUOKA ART MUSEUM 季刊誌「エスプラナード」
2021年4月号

にっすい

esplano
ard

FUKUOKA ART MUSEUM 季刊誌「エスプラナード」
2021年4月号



esplano
ard

FUKUOKA ART MUSEUM 季刊誌「エスプラナード」
2021年4月号



(6) 広報・集客に関すること 等

広報活動

- HPブログや各種SNS（Facebook、Twitter、Instagram）による情報発信
- SNS広告の実施
- 媒体広告の実施



**夜間開館
はじまります！**

7月～10月の金・土曜日は開館時間を延長して、午後8時まで展覧会をご覧いただけます。
※通常開館時間：午前9時30分～午後5時30分
※入館は閉館の30分前まで

ミロデー 写真撮影可能！

7月の3、6、付く5日間限定でミロ作品を撮影いただけます。
7月13(水)、16(土)、23(土)、26(火)、30(土)

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

【問】福岡市美術館 TEL092-714-6051 福岡市中央区大濠公園1-6



福岡市美術館 夏休み子ども美術館 2022

水のリズム
The Rhythm of Water

2022. 8.21(日) まで開催中

水の音をテーマにいろいろな作品を紹介します。

福岡市美術館
2階 流理代展覧室 A



福岡市美術館

July DAY

2022年11/3(水)～6(土) 10:00～15:00

会場：福岡市美術館 対象：未就学児から中学生とその保護者

かいてくキッズ 美術館の謎をとけ!

対象：5歳くらい～
定員：10人程度（入れ替わり制）
対称：本館学芸員とその保護者

ミニミニ ワークショップ

対象：小学生～
定員：各回20人
対称：小中学生とその保護者

走れコブウくん！

対象：3歳くらい～
定員：10人程度（入れ替わり制）
対称：本館学芸員とその保護者

布でバッジをつくろう!

対象：小学生～
定員：各回20人
対称：小中学生とその保護者

11月5日(日) 10:00～21:00
①13:30～②14:30～

コレクション 展覧料 11月3日(水・祝)は、コレクション展覧無料です。
中学生以下無料 高校生150(100)円 一般200(160)円 ※()内は20名以上の団体料金
※当日は入館料を別途お支払いください。

その他

- デジタルサイネージの運用

前年アプローチ広場に設置されたデジタルサイネージにて市美術館のプロモーション動画、市美術館で開催する特別展の情報等を発信。



(6) 広報・集客に関すること 等

集客事業

- ・ 展示以外でも美術館を気軽に利用してもらえよう、落語や演奏会を実施
- ※ 美術館PFI事業を担う福岡アートミュージアムパートナーズ(株)主催
- ・ 令和4年度は5件のイベントを実施計画
 - 令和4年5月：第12回桂春蝶独演会「お父さんのバックドロップ」
 - 令和4年7月：夏休みマスターロード博多人形絵付け体験
マスターロードサマーカップ2022
 - 令和5年1月：新春コンサート「ジャズを聴きたくて」
 - 令和5年2月：ワークショップ
『WEEKEND“RISO”CLUB～刷って驚き！見て楽しい！
“リソグラフ”のプリント体験～』
 - 令和5年3月：「春まつり」

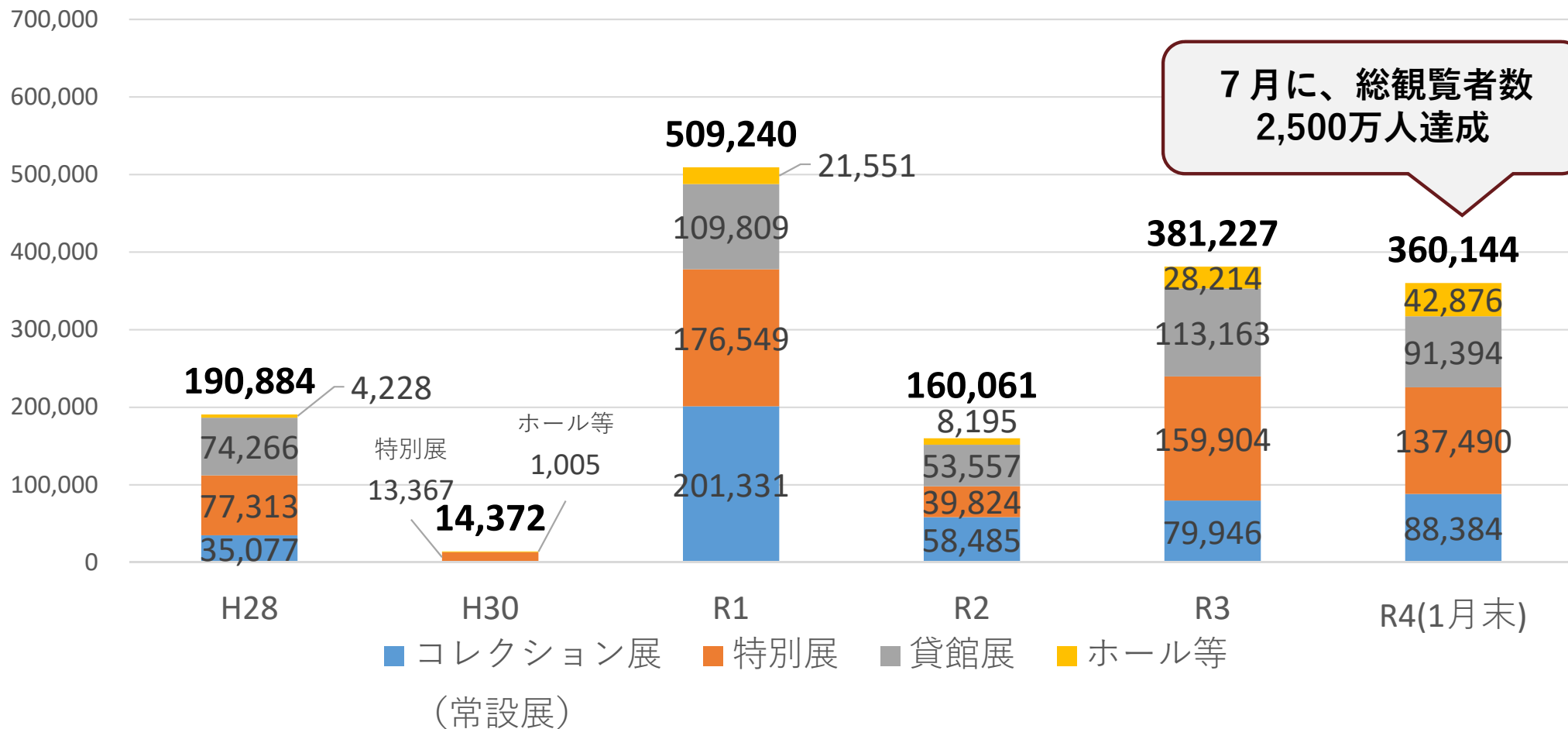


その他（連携・協力事業等）

- ・ 福岡ミュージアムウィーク2022
- ・ FaN Week 2022
- ・ 福岡市交通局「地下鉄沿線周遊イベント『ひらがなみっけ！』」

3 施設利用状況

施設利用者数の推移



※H28.9.1～30.3.20までリニューアル改修による休館

※新型コロナウイルスの影響によりR2.2.27～3.20、4.5～5.18、R3.5.12～6.20、8.9～9.13は臨時休館（ただし、令和3年度は一部展覧会及びイベントのみ休館中も開催）

新型コロナウイルス感染症対策について

令和4年度に引き続き実施した対策

- ・サーモカメラ設置、マスク着用及び手指消毒の徹底
- ・施設内の定期的な消毒
- ・利用人数の制限（展示室、ホール等）
- ・券売カウンターやレジにおける飛沫感染予防（アクリル板等の設置） 等

令和4年度に変更した対策

- ・キッズスペースに従前設置していたクッション・絵本を再設置。
- ・内容を制限していたボランティア活動を従前通りに。
- ・館内ロビーの休憩用椅子を再設置。
- ・トイレのハンドドライヤーの使用を再開。

福岡市美術館 令和5年度事業計画

令和5年3月16日
令和4年度福岡市美術館協議会

1 観覧者目標

2 令和5年度予算

3 主な事業、取組みについて

展示（特別展・企画展・コレクション展）

教育普及活動

ほか

1 観覧者目標：40万人

(参考：実績)

令和4年度：317,268人（1月末）、令和3年度：353,013人、令和2年度：151,866人

2 令和5年度予算

美術作品の収集強化

現代の多様な作品を収集することで、コレクションをアップデートし、市民の鑑賞機会の充実を図るとともに、アートの魅力を国内外に発信する。

内容	予算額（千円）	備考
【歳出】	837,799	施設管理、展覧会経費、教育普及、資料収集費 など
【歳入】	50,470	施設使用料、駐車場、コレクション展観覧料、ふくおか応援寄付 など

3 主な事業、取組みについて

特別展

日本の巨大ロボット群像（仮題）－巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現

会期	令和5年9月9日～11月12日 56日間
主催	福岡市美術館、西日本新聞社他
内容	<p>1963年のテレビアニメ『鉄人28号』放映から今年で60年。日本では脈々と「巨大ロボット」が登場するアニメーションが制作されてきた。その魅力とは何なのか？</p> <p>現在の「リアル志向」のメカデザインセンスの原点である1970年代～1990年代のメカニカルデザインの歴史をたどり、そのうえで現在実際に運用されたり実現したりしたロボットや機械などの実例を示し、現況のメカデザインと私たちのリアリティの関係を探る「デザイン」の展覧会。</p>
会期中の主なイベント	講演会などを予定。



宇宙の戦士（1977年）
加藤直之 ©スタジオぬえ

3 主な事業、取組みについて

特別展

永遠の都ローマ展

会期	令和6年1月5日～3月10日	57日間
主催	福岡市美術館、毎日新聞社他	
内容	栄えある歴史と比類なき文化を誇る永遠の都ローマ。カピトリノ美術館の名品を中心に、ローマ2000年の歴史と芸術を紹介。建国の神話にまつわる作品から、古代ローマ帝国の歴代の皇帝像等、ルネサンスから近代までの多彩な作品が約70点結集する。	
会期中の 主な イベント	講演会などを予定。	



《カピトリノの牝狼（複製）》



カラヴァッジョ派の画家《メロンを持つ若者（嗅覚の寓意画）》

3 主な事業、取組みについて

企画展

朝鮮王朝の絵画—山水・人物・花鳥—（仮）

会期	令和5年9月13日（水）～10月22日（日） 40日間
会場	古美術企画展示室
主催	福岡市美術館
内容	<p>朝鮮時代は、中国絵画の影響を受けながらも、独自の画風を持った絵画が生み出された。近年の研究の進展により、従来中国絵画だと認識されてきた絵画の中に朝鮮絵画が含まれていることも分かってきている。</p> <p>本展では、当館が収集してきた朝鮮時代の絵画に加えて近年新たに見出された優れた朝鮮絵画を紹介することでその魅力に迫る。</p>
会期中の主なイベント	講演会などを予定。



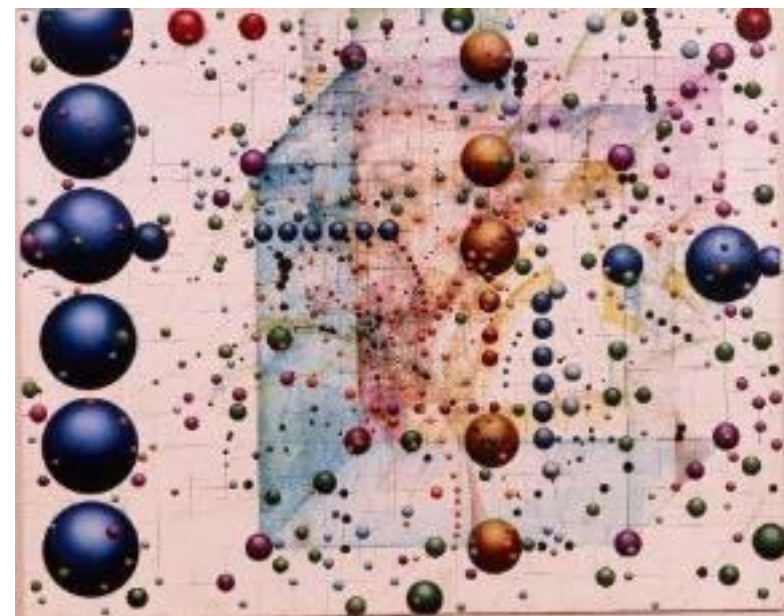
山水図 個人蔵

3 主な事業、取組みについて

企画展

オチ・オサム展

会期	令和6年1月23日～3月24日	54日間
主催	福岡市美術館	
内容	佐賀県出身の美術家 オチ・オサム(1936-2015)は九州派のメンバーとして活動したことで知られます。1950年代末にアスファルトや日用品を表現の素材として見出し、当時の美術界に新風を巻き起こしました。1960年代後半からは渡米経験を経て、独自の絵画空間を作り出しました。本展では、九州派時代から晩年までの作品・資料を紹介し、幅広い活動をたどります。	
会期中の 主な イベント	講演会などを予定。	



オチ・オサム 《球の遊泳II》1979年

2 主な事業、取組みについて

コレクション展 近現代美術



コレクションハイライト

通期

近現代美術室A、C



新収蔵品展

3/24~6/11

近現代美術室A、B



山好きな画家たち

6/22~8/27

近現代美術室A



時代で見る美術 1940年代

6/22~10/8

近現代美術室B

3 主な事業、取組みについて

コレクション展 近現代美術



奈良原一高「王国」

8/29~11/5

近現代美術室A



九州の女性画家たち②

10/10~1/21

近現代美術室B



日本画にみる人物表現

11/7~1/21

近現代美術室A

3 主な事業、取組みについて

コレクション展 古美術



全部見せます！
岩佐又兵衛 《三十六歌仙》
4/11～6/25
古美術企画展示室



新収蔵品展
4/11～6/25
古美術企画展示室



夏休みこども美術館2023
うつくsea! すばら
sea!
6/27～9/10
古美術企画展示室



秋の名品展
9/6～11/13
松永記念館室



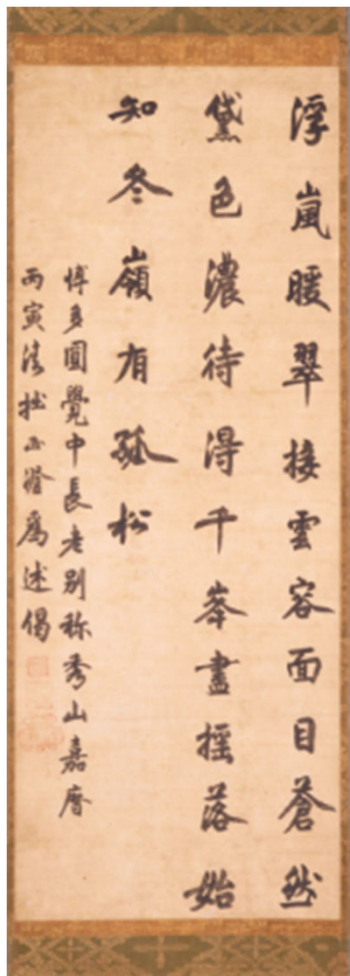
懐石のうつわ
向付・鉢・酒器
6/13～8/20
松永記念館室



幻の古陶 現川焼
田中丸コレクションを中心に
10/25～12/17
古美術企画展示室

3 主な事業、取組みについて

コレクション展 古美術



海を越えた交流
墨蹟を中心に
10/31~2024/1/14
松永記念館室



仙厓展
10/25~12/17
古美術企画展示室



アジアの染織
2024/2/20~4/21
古美術企画展示室



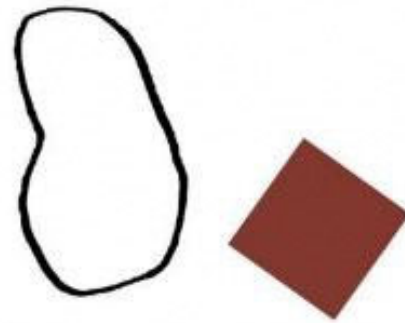
狩野派絵画名品展
12/19~2024/2/18
古美術企画展示室



シリーズ茶の湯交遊録Ⅲ
原三溪と松永耳庵
2024/1/16~3/17
松永記念館室

教育普及活動での主な取組み

- ・ 学校との連携（通年、スクールツアー等）
- ・ 福岡ミュージアムウィーク2023（5月13日～21日）
- ・ 夏休みこども美術館2023（6月27日～9月10日）
- ・ ファミリーDAY（11月3日～5日）
- ・ つきなみ講座（毎月1回）
- ・ いきヨウヨウ講座（令和6年3月）
- ・ どこでも美術館 アウトリーチ（7月～9月、1月）ティーチャーズプラス（通年）
- ・ バリアフリーギャラリーツアー（9月9日、10日、16日）
- ・ ボランティア活動（令和5年4月よりギャラリーツアー再開予定）
- ・ 他の施設との連携
- ・ 多文化共生プログラムおよび高齢者向けのプログラムは引き続き実施予定



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM